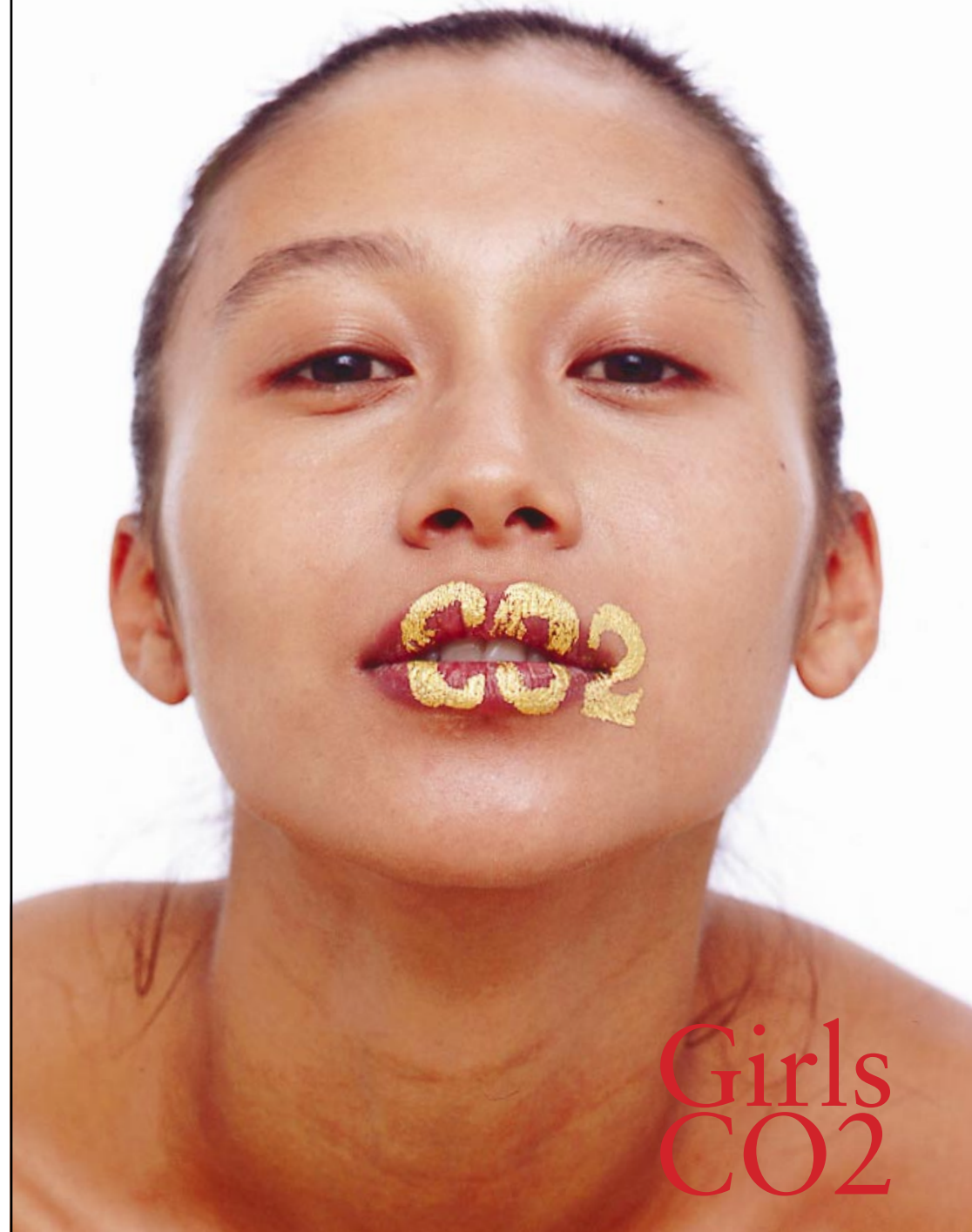


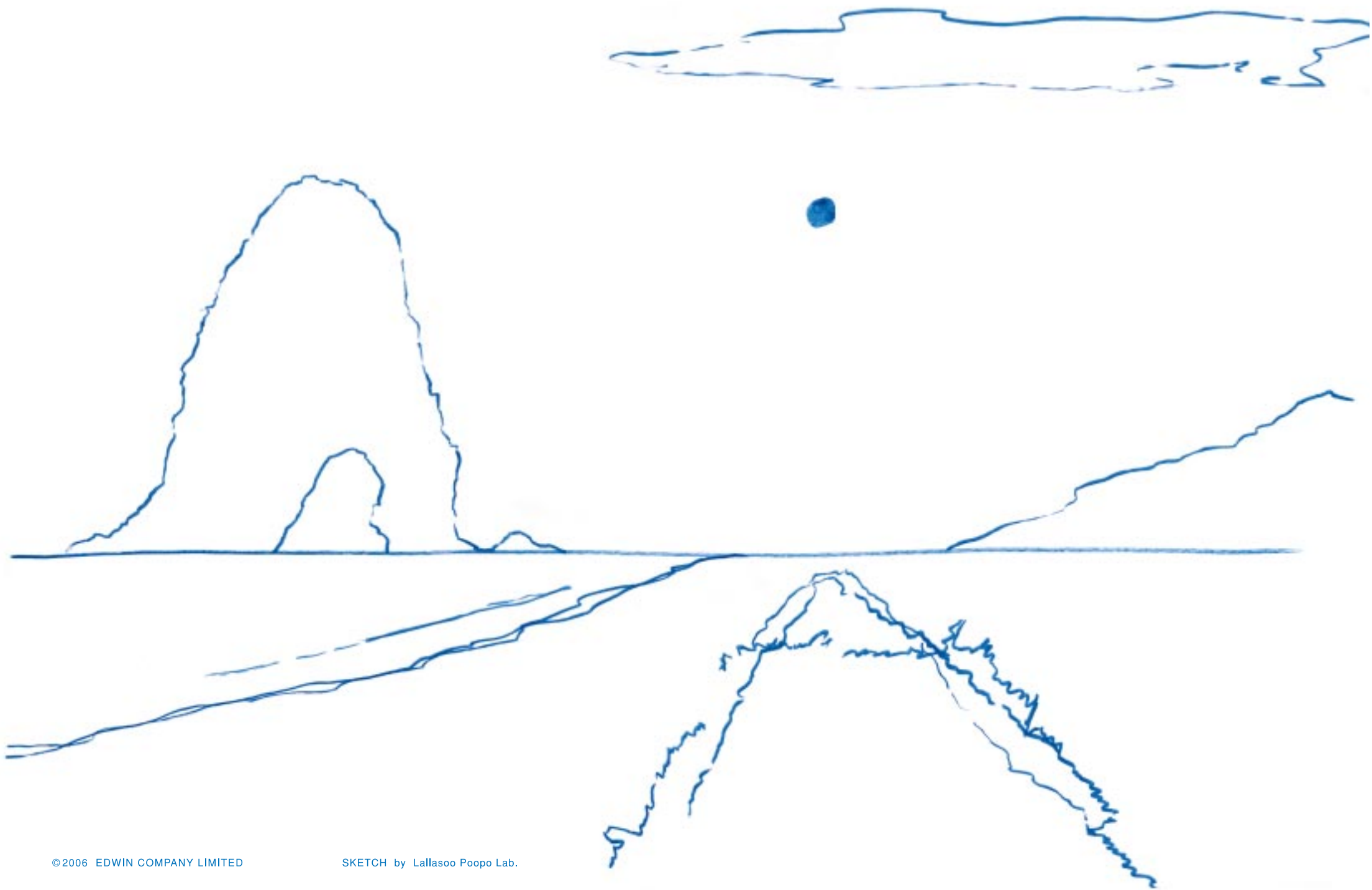
dictionary 113



Girls
CO2

EDWIN.

地球を大切に。エドウィンの願いです。



dictionary no.113

「PEOPLE AtoZ 2006」PDF版をご覧のみなさまへ



ご覧のPDFはフリーペーパー『dictionary』12月10日発行されたものです。PDFで読む「PEOPLE AtoZ 2006」は4回に分けて配信致します。

また、WEBではフリーペーパー『dictionary』完全版がお楽しみ頂けますので是非ご覧ください。

「PEOPLE AtoZ 2006」完全版は

<http://www.clubking.com/contents/peopleatoz2006.html>

こちらでお読み頂けます。

最後のページでアンケートを実施しております。

ご協力頂きましたみなさまには『dictionary』の貴重なバックナンバーやTシャツなどのプレゼントを差し上げています。是非ご協力ください。

Podcast media CLUBKING 配信について

Podcast CLUBKINGでは多彩なコンテンツをご用意しています。

音声作品 音楽作品 映像作品

それぞれ異なった下記のコンテンツメニューよりお好きなものをお選びください。

【media CLUBKINGへのアクセス方法】

iTunes Music Store>Podcast castella_ <http://www.castella.jp>

ケログ_ <http://www.voiceblog.jp>

また下記のURLで直接アクセスも可能です

<http://phobos.apple.com/WebObjects/MZStore.woa/wa/viewArtist?id=191784134>



mother dictionary



CLUBKING music



dictionary deluxe

CLUBKING
COLLECTION

CLUBKING
Collection



Comedy Club King



freepaper dictionary



All About media
CLUBKING

近日配信コンテンツ(12月中旬から1月中旬を予定)

スケジュールの詳細はPodcast media CLUBKINGとWEBにて番組表を發表します!

Podcast <http://phobos.apple.com/WebObjects/MZStore.woa/wa/viewArtist?id=191784134>

WEB <http://www.clubking.com/>

【インタビュー映像配信予定リスト】

箭内道彦、平間 至、いとうせいこう、茂木健一郎、ヒロ杉山、高橋靖子、坂本龍一、中島英樹、tomato、大日本タイガ組合、吉永マサユキ、井上三太、スチャダラパー、バナナマン、ジャマーズ(赤澤ムック、長田奈麻、大掘こうへい、猫ひろし、喜安浩平、ブルースカイ)

【音楽配信予定リスト】

tico moon、snoweffect、安田寿之、カクマクシャカ、立花ハジメ

【映像配信予定リスト】

空気モーショングラフィック、KATHY

名前の並びは順不同です

PEOPLE AtoZ 2006

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

「media CLUBING」はフリーペーパー dictionary、WEB、Podcastで展開中。

本特集では紙面上でご紹介する51組の皆さんをはじめ、

Podcast限定でtomato、スチャダラパー、井上三太さんも配信します。

 音源	 インタビュー
Podcastで楽曲を配信	Podcastでインタビューを配信
 ビジュアル	 映像
Podcastで写真、イラスト、グラフィックなどを配信	Podcastで映像を配信



いとうせいこう／作家・クリエイター

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

これは過去の仕事と違うなと思ったのは『PLANTED』という雑誌を編集長として立ち上げたことですね。正直なところ、この10年くらい雑誌って、売れるか売れないかじゃなくて、営業部とか広告部のお金周りの人たちがマーケットの計算をして、こういうページ作りだったらどのくらい広告が入るか？でしか雑誌が作られなくなっちゃっていて。そんな窮屈な話はないでしょ？全部資本主義じゃない？っていう気持ちはしていたんですよ。そんな土台の上でクリエイティビティを競っているのは虚妄で、僕は雑誌にも興味がなかったんです。だけど『PLANTED』は、僕が'99年に出した『ボタニカル・ライフ』という本に近いイメージの雑誌を作りたいという話を持ってきてくださった。どう考えたってマーケットがない訳ですよ。“植物世代”っていうものがある訳でもないし、そこに商品やお金がものすごく動いている訳でもないし。で、今どき雑誌のコンセプトから言いはじめる人がいるとは思えなかったで、「こんなこと言う人がいるんだな」っていうのが正直なところですね。ちょっと無謀だけど、流れに竿を刺せるならお役に立とうかという感じです。僕は記事を見て広告が決まるという順番にしたいんですよね。広告があって記事があるんじゃない。それが何号から上手くできるかわからないですけど。



- #1 "seed" Issue
AD 藤本やすし (CAP)
- #2 "air" Issue
AD 服部一成
- #3 "travel" Issue (12/14発売)
AD 尾原和史 (SOUP DESIGN)

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

ヤン富田さんから高木完ちゃんと僕と3人で、また音楽をやるという話になって。最近だと「sonarsound2006」でライブをやりました。これは枠組みが自然発生的で面白かった。“こういうプロジェクトがあるんです”って言われて参加するのは嫌なんですよ。いっぱいやってきたし。しかも僕は楽器をやらないのにインドのタンブーラっていう楽器をやらされて。この歳になって楽器を弾くとは思わなかったから、それも自由でよくよかった。

CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

なるべく削いだ暮らしをしていこうと思っているんですね。僕はあまり物を買わないし、夏には冷房も使わない。過剰なことには飽き飽きしている。何かを削減することより、暮らし方として賢くいたいので、具体的に「削減しています」っていうことは言えないんですけど。削減するために気をつけるっていうのもおかしくてね。好きな方向に生きて、たまたまその方向が余計なものを出さないということだから。CO2だけというより、問題は消費社会の問題でしょ。そこに抗って、個人が削いだ暮らしをしたところっていう絶望感はあるんだけど、あきらめてだらしない暮らし方はしたくない。



PROFILE & INFORMATION

作家、クリエイターとして、あらゆるジャンルに渡り、幅広い表現活動を行っている。近刊『自己流園芸ベランダ派』など作品多数あり。'07年4月にはブルースカイ作・演出による演劇ぶっく社20周年記念公演 in シアターアプル「レミゼラブル」に役者として出演。



小林節正 / RESEARCH 代表

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

自分的なことをひとりで総括してみると、2006年は「始めるためのこと」と「終えるためのこと」を平行して行った一年。皆様にお世話になったおかげで13年間続けることができたGENERAL RESEARCHを春夏をもって終わらせ、終わらせると同時に、MOUNTAIN RESEARCHに始まる「新しいやり方」をスタートさせました。GENERALは、旧知の友人たちのおかげもあり、うまく幕引きをすることができた印象です。新しく始めたこと、これは気分が高揚感があって、なぜもっと早くやらなかったのかと痛感している次第。これからしばらくの間は、MOUNTAIN RESEARCHとして「登山口」のあたりに「居る」つもりです。NEWS BOY、NAVAL、PRISONER SUIT、RIDING EQUIPMENT... etc.

自分の関心の赴くままに、色々なプロジェクトを間に挟みながら、今後は、MOUNTAIN RESEARCHを年に一回のペースで出していく予定。次回MOUNTAIN発表の頃に、皆様に改めて「登山口の空気」をお届けにあがりたくと思っています。



PROFILE

RESEARCH代表。「RIDING EQUIPMENT RESEARCH」のエキシビジョン開催の傍ら、次なるMOUNTAIN RESEARCHに向けて（'07年「山に出掛ける頃」リリースを予定）、頭の中は既に「登山口」へ。

INFORMATION

<http://www.sett.co.jp/>

塩井りり

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

今年はシドニーの家と東京の仕事を4往復した生活。真夏のビーチから突然シンシン凍みる冬に、いいね桜はとつぶやいたら、すっかり空は秋の雲。あらあら乾燥の冬だわと腕をさすっていたら、泥のフジロックでああ今年の夏。まだまだ残暑とうなだれていたら、花咲き乱れる春！それでいよいよ夏だビキニだと思ったら、心もすっきり秋晴れの東京に居たっけ。1年にダブル四季を味わったわけで、それも時差なし移動の贅沢な1年だったなあ。オーストラリアでの夫との二人暮らしはほとんど人と会わない社会活動&文化活動ゼロ生活。ひたすら海と空と風と土まみれ。東京ではま逆の活動率500%生活。毎夜仕事場であるバー「X+Y」や外で隣に座った人と会話会話のセッション日々。どちらの暮らしも大好きだし止められないよー。最近ではめっきり記憶力が低下し、誰といつどこで何をしゃべったとか具体的な記憶が飛んじゃうんだけど、自然の中に身を置くとおとった人ひとりひとりの顔や会話の断片が戻ってきて……、そんな時は幸せ気分。内面的には家族感が大幅に変わった年だったかなあ。18才の時に親元離れて暮らすようになってから育ってきた環境、考え方、逃れられないものなどについて客観的に捉えるようになったけど、今が第三ステージ通過って感じかも。

つづきはWEBで…

PROFILE

'78年ダンス修行でNYへ。パンク&ニューウェイブシーンの洗礼を受けてミュージシャンに。モリ・イクエと「TOHBAN DJAN」を結成。90年帰国後、ゴールド、オレンジ、ミルク、X+Yに至るまで佐藤俊博と共に東京のナイトクラブシーン事に没頭。毎夏FUJIROCKフェスにてTRIPSTERSと欲望のカーニバルテント展開。

石井朝子 / green tee

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

今年はいくらでも受けなかった種類の問い合わせが発生。「これは本当にオーガニックですか？と聞かれたが、何と答えればいいのか？」「オーガニックコットン製品を扱う前に、トレーニングをしてください。」「機械で摘んでいるのでは？その場合、薬を撒かないといけないはず。とお客さんに言われましたが……」などなど。どの問い合わせもより多くの人がオーガニックコットンを知る絶好のチャンスであり、つい熱く説明。また、「もう少し安くしてもらえないか？」という問い合わせも。しかしそれは、何に対して支払われる対価なのかというメッセージがまだそこに届いていないことの表れだと思う。工夫をこらし、土・水・空気をクリーンに保ちながら栽培し、収穫は年に一度。フェアな価格を支払うことで、それを直接的に行動している農業と農家をサポートするのです!!! y'all!

つづきはWEBで…

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください
◆今年に限らず、ここ3、4年ずっと深い影響を…



PROFILE

1971年東京都生まれ。大学卒業後、日米の芸術家を助成する仕事に携わる。その後“オーガニック”をキーワードにパタゴニア日本支社に転職。ここで多くを吸収し、より幅広くオーガニックコットンを広めることを目的に、2003年に「green tee」をスタート。ベビーウェアからイベントTシャツまで、依頼されたスタイルをオーガニックコットンでカタチにすることを使命に活動中。

高橋幸治 / MACPOWER 編集長

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

漠然とした予兆をいろいろな場面で感じた年でした。拮抗していた2つの異なる時代性のうち、片方が大きく衰退し、もう片方が大きく台頭してきた気がします。それは「1990年代なるもの」と「2000年代なるもの」なのかもしれないし、ひょっとすると「2000年代なるもの」と「2010年代なるもの」なのかもしれません。おそらく2005年～2006年より、2006年～2007年のほうが、人々の気持ちや価値観に劇的な変化が起こるはず。それを見極めるためにも、来年は新しいことをたくさん始めなさいと思っています。そんな意味も込めて、MACPOWER 1月号はこんな表紙。新時代の幕開けを予感させる、オシャレな日の出です。



「MACPOWER」1月号
photo__LAKE TAJO

つづきはWEBで…

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください
宮沢章夫さんの…



PROFILE

1968年生まれ。B型。広告代理店のCMプランナーを経て、現在、MACPOWER編集長。DJもときどき。2007年4月からは日本大学芸術学部非常勤講師。同じころ、季刊ペースのカルチャー雑誌を新たに創刊予定。

田中優／環境非営利活動家

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

とにかく暗かった。今も「いじめ自殺」で世間が騒いでいるが、いじめよりも学校が教育委員会に報告していなかったことばかりが問題視される。教育委員会に報告しても、結局「学校の指導が十分でない、指導力不足」と言われるだけ、しかも地位や給与にまで影響が及ぶのに誰が本当のことを報告するものか。しかも「いじめ」自体は学校に始まるものではなく、むしろ会社内の方がずっと深刻な状態にある。問題そのものよりも、格好ばかりが言われている。

「対テロ戦争」だってそうだ。殺した数はアメリカの方が断然多いし、石油会社と軍需企業の利益は天文学的な数字になった。で、テロはなくなったかね、プッシュくん。ごく最近プッシュが敗北して、やっと灯かりが見えてきた気分だ。

つづきはWEBで…

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください
日経新聞に載っていた「経済行動と感情」…



PROFILE

環境非営利活動家。「未来バンク」代表、「ap bank」監事。「日本国際ボランティアセンター」理事、著書『戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方』『貧しさをなくす30の方法』／合同出版ほか多数。

大林ミカ／NPO 法人環境エネルギー政策研究所副所長

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

悲観的な側面からは、環境的にも政治的にも、日本の社会が最悪に向かって走っていきつつあるように感じた年。地球温暖化対策は進まず、六ヶ所再処理工場がアクティブ試験に入って、安倍政権が誕生した。そして、世界的に石油がなくなりかけている—このままなら確実に破滅する。希望を持てるとすれば、日本の地域や世界のここそこで、自然エネルギーがどんどん普及し始め、米国でも地球温暖化対策が進みだして、民主党が議会で多数を占め、そして、石油がなくなりかけている—新しい時代を始める絶好のチャンスである。個人的には、こんな時だからこそアートの力を再び感じた年。でも何事も中途半端で、事態の深刻さに比べて自分はやるべきことをやっていないと感じた年。Syd Barrett が死んでしまった年。

つづきはWEBで…

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください
「ピーク・オイル・パニック」…

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください
効率の良い機器を購入して生活の中で…



PROFILE

1964年中津市生まれ。NPO 法人環境エネルギー政策研究所副所長。「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク副代表。90年代に原子力資料情報室でエネルギーとアジアの原子力問題を担当。2000年に環境エネルギー政策研究所を仲間と設立。地域のエネルギー政策への政策提言、国際交渉でのロビーなどを中心に活動。
<http://www.isepp.or.jp>

小野塚秋良／ZUCCa デザイナー

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

仕事で、東ベルリン・ポルトガル・リスボン・ニューヨークと短時間でまわってみて、色々感じることに。よって頭の中にある時空軸が、グニャグニャに変化してしまいました。ダリの描く世界観のような、懐かしいハイマート風景……。



Heimat



PROFILE

1950年生まれ（日本/新潟県出身）1988年株式会社ウィット設立パリにて「ZUCCa」発表、年2回のパリ・コレクション開始。1990年第8回毎日ファッション大賞受賞、第34回日本ファッションエディターズクラブ賞受賞。2004年フランスの産業発展への貢献により「ZUCCa TRAVAIL」がフランス・プレタポルテ協会から「1er TROPHEE ELAN 2004」受賞。

南風食堂／料理ユニット

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

2006年に気づいたことがある。その人らしい、だけどころと社会ともコミットしている新しい表現を生みだして、会えば柔らかく開けていて、好奇心旺盛、人生を楽しもうとしている人がいたとする。やっぱりそういう人と一緒にいたいし、ご飯食べたいし、仕事したいじゃないですか。だけど、そういう人であるためには、心も体も健康でないとイケないし、なんていうのかな、エネルギーがいると思うのです。まだまだ精進が必要なんだけど、2006年、南風食堂のエネルギーのもとになったのは、みんなが祝ってくれた誕生日だったり、イベントで行った弘前で大切な人たちと食べた特別なイタリアンだったり、森を散歩したことだったり、釣りに初挑戦したことだったり。あとは、好きな音楽や読んだ本、全国各地で出会った人と話したこととか、笑った顔とか。次の課題は、そうやってもらったエネルギーをどうやって循環させていくのか、そういうことを年末年始にごろごろしながら考えたいと思います。

つづきはWEBで…

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください
南風食堂のキッチン&事務所「南風荘」の…



PROFILE

“南風食堂”小岩里佳と三原寛子による料理ユニット。味はもちろんのこと、食感、色、音、空間を含めたよりよい「食」の場のプロデュースを目指す。食に関する企画提案や編集物の制作、雑誌やWEBでの料理紹介などもおこなう。各種パーティでのフード提供もなかなか好評。
<http://www.nanpushokudo.com>



坂本龍一 / 音楽家

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

最近のニュースですけども、大きいのはアメリカの政治の流れが大きく変わったことですね。6年間かかっていましたけど。2001.9.11以降のものすごい状況を考えてこの揺り戻しはすごい。9.11もド肝を抜かれたけれども、今回の選挙っていうのもアメリカの面白さをみせつけられた。で、振り返って僕たちのこの日本でね、こういう揺り戻しが果たして可能か？といったら不安なんです。このままずっと行っちゃいそうな感じで。実はさ、高校のときの親友が官房長官になって(笑)。塩崎っていうんだけど。これにはちょっと困ってますよ、どう対処していいんだか(笑)。よりによって安倍政権の官房長官だもの。だって、憲法を改正するとか、教育基本法を改正するとか。核武装論まで飛び出してね。どうするんだろ、塩崎。個人的なメッセージになっちゃってるけどさ(笑)。

(stop-rokkashoについては)僕もね、漠然と原発はやだなとかね、放射能がない環境になったほうがいいんじゃないか？とかね、そんな程度の人間だったんですよ。でもある日、この再処理工場からはたった1日で普通の原発から出る1年分の放射能が出るという文字を見てしまったんですね。これは見てしまった人は、そのまま素通りできないでしょ、やっぱり。人がそこに倒れているのに、川で溺れている人がいるのに、知らん顔できないのと同じで。まあ、それはないんじゃない？っていう。そんな普通のもんです。stop-rokkasho からいろんなTシャツが出来てきて、Tシャツを売ったお金で土地を買って木を植えようとかね、そういう具体的なアクションにまで繋がっていくかもしれない。なんか夢が広がっていくなあと。ただ単に「反対！」って言うだけじゃなくて、いいことしようと。実現させようと。だから、応援してください。

CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

なるべく電気を使わない、とかですね。今住んでいるところは風力発電所から電気をもらっていて。自然エネルギーでまかなった100%CO2フリーのコンサートもできるようになってきました。あと、ホテルって客室が多いんで小さいことが×何100で結構大きくなる。24時間お湯が保温されているから、仲良くなった支配人に思いきって「止めましょうよ、2、3分待って使えばいいんだから」って言ったらほんとにやめてくれたんですよ。言ってみるもんだな、と(笑)。同じ目線で街をみていくと改善できるところがたくさんあるはずなんです。例えば自動販売機とかね。あとは面白いアイデアをみなさんに出して頂いて。そういう目で生活や社会をみてみるのが大切なかもしれませんね。(11/13収録)

PROFILE

1952年東京生まれ。東京芸術大学大学院卒。78年アルバム「千のナイフ」でデビュー、「イエロー・マジック・オーケストラ(YMO)」に参加、世界的な成功をおさめる。映画「戦場のメリークリスマス」「ラスト・エンペラー」で音楽賞を多数受賞。音楽活動の他、CODE、ap bank、stop-rokkashoなど様々なプロジェクトを通し、常に世の中に警笛を鳴らしている。

INFORMATION

2006年11月に、音楽をユーザーに届ける最適な方法を構築するための新組織『commons』の設立を発表。<http://www.commmmons.com/> 現在はNYにて、日本では2008年に公開が予定されているカナダ、イタリア、日本合作映画の音楽制作中。alva notoと坂本龍一のコラボレーションユニットinsen tourのDVD『insen live』が発売中。





中島英樹

アート・ディレクター、グラフィック・デザイナー

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

かなりのエネルギーを、11月の個展と、僕の2冊の本に費やした年でした。また、足首を骨折と靭帯の負傷で、いまだ、不自由な生活を送っていますが、この都市の、救えないほど悲しい場面を、まごまごと見せつけられました。簡単なケガで、こんな思いをしなければならない国ですから、たくさんの大変な人の心の痛みは想像も出来ないと思う。にも関わらず、僕は、いまだに、加害者に加担してる事も事実です。龍安寺の有名なつくばいに刻んでいる「吾唯足知」を見に行きました。言葉と裏腹に矛盾するお金の形をしているそれをじっくり眺めて、いろいろ考えさせられ勇気をもらいました。



「吾唯足知」をテーマに制作した作品「CLEAR in the FOG_money」

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

世界のたくさんのタイポグラファーとの出会い。自分のサンセリフのオリジナルの書体を作っていて、良い評価をもらったのですが、それでもいくつかの間違いを教えてもらい、現在、作り直しています。

CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

メモは、全て、使い終わったコピー用紙の裏を使っています。環境に対してなるべく、負荷をかけないようにしていますが、仕事事柄も含め、車通勤とか、矛盾する行為も同時に行っているんで、いつも、後ろめたい気持ちです。



PROFILE

この秋、gggにて「CLEAR in the FOG」という個展を開き、同時に同名の作品集を発表。現在、ロンドンのpockoに所属、参加している。

INFORMATION

展覧会后、中国のニンボーにて、各自15メートルを使う12人のグループ展に参加予定。また、12月より、京都のアートゾーンにて、「CLEAR in the FOG」を違った見せ方で、巡回する予定です。オンラインショップでのみ、「CLEAR in the FOG」が購入可能です。www.rock-net.jp



豊田弘治 / アーティスト

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

今年は、バームグラフィックス10周年と言うことで、『100T-SHIRT BOOK』を出版して頂いたりエキシビジョンを開催したりと、活動的な年でした。そして、沢山の良いエネルギーを持った人達との出会いがありました。そういった出会いに、感謝しています。

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

自宅に咲いた「蓮の花」



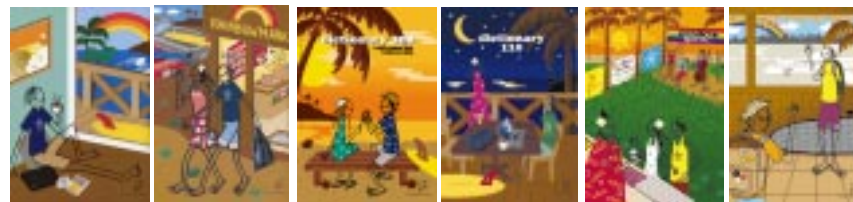
CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

◆必要最低限しか車に乗らない様になっています。

◆買い物などをした時には、袋や包装をお断りしています。

◆「地球がほんまにヤバイねん。」という、環境意識コミュニケーション活動を行っています。

◆買い物をする時に、出来るだけオーガニックの物を選んだり出来るだけ地元で取れた食材や、近場の産地の物などを選ぶようにしています。



豊田弘治さんアートディレクションによる「PORTERのある風景」シリーズ

PROFILE

1962年大阪生まれ。1997年カリフォルニアはハンティントンビーチにある、インターナショナルサーフィンミュージアムで初のエキシビジョンを開催。その後、BEAMSとのコラボレーションによるプロダクツデザインや、日本を始めとしたエキシビジョンを毎年開催している。

INFORMATION

ブエノブックスより、作品集『JOY IN LOVE』『100T-SHIRT BOOK』をリリース。今シーズン、パタゴニアから配布される、『環境BOOK』のアートディレクション及びデザインを担当。





あなたにとって、今年はどうな年でしたか？（今年いちばんの作品をみせてください）



motherのs/sコレクションの撮影の写真です 母と子 平和が滲む1枚です
photographer: ARIKO (pdash) hairmake: 茂山友紀子 (biswa) styling: eri model: 藍+日月



PROFILE

1983年2月11日 雪の日のNYC生まれ 東京育ち。2005年より湯川潮音さんの衣装とアートディレクションを担当中。著書に市川実和子さん、東野翠れんさんとの共著『緋緋日記』(Little More)がある。

www.erierieri.com (工事中)

www.mothermother.com

INFORMATION

雑誌『装苑』にて1月号より連載“100の隙間”はじまります



あなたにとって、今年はどうな年でしたか？（今年いちばんの作品をみせてください。）



国土交通省新宿ID

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください



2006年7月22日～10月9日まで水戸芸術館で開催された吉永マサユキ「LIFE展」

PROFILE

1964年大阪・十三生まれ。写真集「髪型東京」「ニッポンタカイネ」（ともにメディアファクトリー/1999年）、「申し訳ございません」（フォトミュゼ/新潮社/2000年）、「Bosozoku」（Torolly Books/英国/2002年）、「族」（リトルモア/2003年）、著書『へたれ』（リトルモア/2005年）



THEATRE PRODUCTS

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

「NEVER ENDING」というテーマの作品を2007S/Sコレクションで発表しました。そして、今年は5周年を迎え、来年1月に展覧会や本を作らせていただけることになりました。いま昔の写真や記憶を整理してるところです。これらをまとめて、また次へ進まなければなりません。

今年いちばんの作品をみせてください



THEATRE PRODUCTS
2007S/S "NEVER ENDING"

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

ドイツの個性派レーベル、“WINTER & WINTER”のCD。その場所や空間をそのまま切り取ったような音楽世界にすっかり魅了されて、全タイトル聴きましたが、プロデューサーのステファン・ウィンター氏来日の際にお会いしたのですが「われわれはまだルネサンスの終わりにいるのだ」という言葉には更にびっくりしました。



CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

なるべく車を使わない。

PROFILE

デザイナー武内昭／中西妙佳とプロデューサー金森香率いるブランド。ファッションに率直に取り組む姿勢が、常識にとらわれない独特の展開となり、アート、建築など多分野からの注目を広く集める。洋服は劇場的であり、アパレルメイカー自体もまた、劇場的であると考え、すべての洋服にまつわる出来事をステージの上にあげ、スポットライトをあてていく。他分野のアーティストとのコラボレーションやパフォーマンス的要素の強いファッションショーも特徴であり、東京コレクションでもっとも注目されるブランドの一つである。

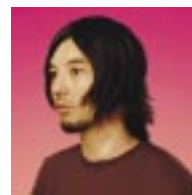
INFORMATION

渋谷パルコ4Fと、ラフォーレ原宿2Fのシアタープロダクツ直営店で、クリスマス特製のオリジナルスノードームブローチが限定発売です（¥2,700）。



三嶋章義／Enlightenment

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？（今年いちばんの作品をみせてください）



PROFILE

1978年大阪生まれ。2000年ニューヨークでヒロ杉山氏と出会い、2001年からエンライトメントに参加。現在はエンライトメントのアートディレクター／映像ディレクターを担当し、デジタルドローイングをはじめ、PV制作やVJなどの映像分野、さらに現代美術作品まで幅広い創作活動を展開している。



KATHY / パフォーマンスユニット

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

コトシ ハ ビジュツカン ヤ アートスペース、ロックフェスナド ヲ ツウジテ、キョウト、オオサカ、トウキョウ、ホッカイドウ、ヨコハマ、トリノ、タイペイ ニ シュツボツ。コウハンイ ニ ジョウリク セイコウ。サラニ セイフクチ ヲ カクダイ ケイカクチュウ!!!



photo __ 菊池麻美

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

クラシックオンガク。トクニ ラヴェル ノ スバラシサ ヲ サイカクニン。

CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

アルク コト。アナログセイカツ ヲ ジッコウ。

PROFILE

2002年に結成。GEISAI-2に出展し、スカウト (NADiff・Tokyo-FM・美術手帖) 賞を受けたことをきっかけにこれ迄にダンスの境界を超え、ギャラリーや美術館でのパフォーマンス、ファッションブランドとのコラボレーションなど様々な領域を侵犯しようと企む女性3人のパフォーマンスユニット！ ストッキングで顔を覆い踊り狂う姿は、各方面でスクランダラスな余韻を残し、記憶の深層へと侵入していく。http://zzkathyzz.com/

INFORMATION

横浜美術館 企画展「アイドル！」にて新作「Happy Birds」インスタレーション、映像作品を出品

10月7日(土)～2007年1月8日(月曜・祝日)まで開催中。

http://www.yaf.or.jp/yma/



山本博之 / (株) ウェス

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

もう8年間繰り返していますが、今年もライジングサンロックフェスティバルに没頭した一年でした。1月1日に開催を発表。アーティストのブックイングや、チケット販売のプロモーション。そして飲食店のリストアップ(ついつい自分が食べたいものを中心に!)を考えているうちに、あつという間に8月18、19日の本番日。一年に一度、全国から(2万人くらいが北海道以外から来てくれるのです。)参加してくれる熱きロックファンとともに、音楽と自然を酒の肴に飲み明かし、一緒に朝を迎えます。感動的な朝日(今年はライブ終了後に出沒!)とともに来年またここで会うことを約束してそれぞれの家路へ。でも、僕に待ちかまえているのは残務整理。最近やっと終了したと思ったら、初雪の便り。そしてスタッフからの「そろそろ来年の日程決めて下さい!!!」の暖かいお言葉。このサイクルは何年続くのでしょうか。。。

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

「モエレ沼公園」と「どんぐり公園」

札幌市内にあるイサムノグチが設計した公園(何年も前から着工していましたが昨年完成)ですが、今年完成後初めて行きました。素晴らしい芸術的都市公園です。子供の遊具もビーチも最高!!でもアスファルトの通路が熱いんです。日陰がないんです。家の近くのどんぐり公園は木陰で弁当が食べられるのです。制作費は何百分の1でしょう。

CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

CO2を出さない為に心がけているのは「家庭平和」です。

妻はエコなのかケチなのか細かい事を色々しているんです。お風呂の残り湯を洗濯に使うとか牛乳パックの使い回しとか。買い物にはマイエコバッグを持参して「バッグに入る分しか買い物できないから余計な物を買わなくて済むの。二重の意味でエコでしょ。」と自画自賛しています。僕の買って欲しい物はある余地無し。。。でも、もし彼女のような人がいなかったらCO2は増えまくり。。。

CO2削減を心がける彼女の生活スタイルに着いていくことが僕に出来るCO2削減かな。



RISING SUN ROCK FESTIVAL 2006 in EZO



PROFILE

コンサート企画制作 取締役チーフプロデューサー。'65年9月生まれ。'89年に株式会社ウェス入社。現在、コンサート企画・制作業務に従事。ライジングサン・ロックフェスティバルでは第1回から陣頭指揮を執る。毎年オープニング前と大トリ前、SUN STAGEからの挨拶でお馴染み。



高橋靖子 / スタイリスト

あなたにとって、今年はどうな年でしたか？

楽しい年でした。2月に『表参道のヤッコさん』という本を出して、自分の60年代、70年代の青春から、今に至るまでのことを書いたので。20代の自分を生き直してみても、新たに50代、60代のスタートをきって、あと20年、30年がんばるぞ！と、来年再来年さらに楽しみになった年でした。ちょっとだけホッとしていることは、私の心の中には「なぜあのようなテロが起きてしまったか？ ゴアが大統領になっていたらテロは起こらなかったんじゃないか？」という思いがずっとあったんですよ。戦争が長引いてとても絶望的になっていたんですけど、やっとね、プッシュの旗色が悪くなって、世の中に正常な価値観が戻ってくるんじゃないかと期待しています。国内ではライブドア事件があって。堀江さんが若者の新しい価値観を作りたいな感じだったんですけど、裁判の様子を見て、あまりにも情けないなという感じがしたんです。若い人たちがあれは真っ当じゃないということを確認して欲しいなと思っています。そういう意味ではちょっと希望が出てきたんじゃないかなと思っています。

今年、あなたに深い影響をあたえたものを教えてください

『ホノカアボーイ』（吉田玲雄 / 榎出版）

青年の生き方、ハワイの風景、登場するおばあちゃま。ひとつひとつが映像になって私の中を駆けめぐり、すごくいい映画になるんじゃないかと思いました。そうやって欲しいと、一ファンとして期待しています。

CO2を出さないために、どんな工夫をしていますか？

大きな会社や車が良くないということになってますが、いちばん汚しているのは私たちひとりひとりが生活の中から出しているものなんだそうです。だから大きな組織でコントロールするんじゃなくて、いらぬ電気を消す、無駄な紙を使わない、洗剤を使わずに洗い、汚れた水を流しすぎない…、そういう工夫がとっても大事じゃないかと思っています。(11/8収録)



PROFILE

1941年生まれ。大学卒業後、コピーライターを経て、スタイリストに。デヴィッドボウイやTレックスの撮影をアレンジしたことで知られる。今年『表参道のヤッコさん』（アスペクト）を出版。ホストを務める「午後6時のトークショー〜表参道物語〜」をKDDIデザインスタジオで開催中。立花ハジメ氏をゲストに迎えるの次回を12/15（金）開催。

INFORMATION

「表参道のヤッコさん」に引き続き、2月に「パチパチパーティー」（幻冬舎）を出版予定です。

YACCO

media CLUB KING vol.4

午後6時のトークショー〜表参道物語〜

@ KDDIデザインスタジオ

高橋靖子（スタイリスト）× 立花ハジメ（アーティスト）

2006.12.15 (FRI) OPEN / START 18:00

“表参道のヤッコさん”が開く午後6時の集い。

日本のスタイリスト界の先駆者、高橋靖子さん（愛称・ヤッコさん）をホストに迎え、原宿という街が創ってきたカルチャーの“今まで”と“これから”をキーワードにKDDIデザインスタジオから発信するトークショー。好評開催第4回ゲストは、音楽、グラフィックの活動はもちろん、公式サイト「traffic」のオープン、趣味のビストバイクなど、目の離せない活動を展開中の立花ハジメさんです。

高橋靖子（スタイリスト）

初期のデヴィッド・ボウイなどを担当。広告、CMなど第一線で活躍中。「表参道のヤッコさん」（アスペクト）に続き「パチパチパーティー」（幻冬舎）が刊行される。



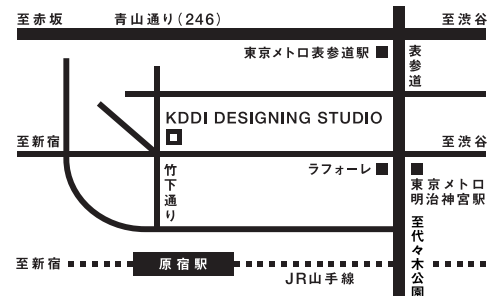
立花ハジメ（アーティスト）

1951年生まれ。東京出身。「プラスチック」を経てソロ活動へ。グラフィックデザイナーとしても第35回ADC最高賞など受賞多数。公式ホームページ <http://traffic.jp>



10.27 wed vol.3 レポート

ゲストは原宿生まれの丸山敬太さん。この街のカルチャーをつくり、若い人たちを育てた大川ひとみさんら大人たちの存在など、たっぷり表参道秘話を伺ったこの日のトークは、KDDIデザインスタジオのHPと、ポッドキャストmedia CLUB KINGでオンラインされます。お楽しみに。



KDDI DESIGNING STUDIO



場所：原宿KDDIデザインスタジオ（入場無料）渋谷区神宮前4丁目32番16号

企画・制作：株式会社クラブキング

お問い合わせ：株式会社クラブキング 03-3418-3399 <http://www.clubking.com/> KDDIデザインスタジオ <http://www.kds.kddi.com/>



S
H
I
P
S

